

2年連続の優勝を決め、マウンドに集まって喜ぶ八学光星ライン
27日、弘前市はるか夢球場



光星 2年連続甲子園切符

八学光星	000	100	100	1	3
工大	000	100	0100	2	

(延長10回タイブレーク)

第105回全国高校野球選手権青森大会は27日、弘前市はるか夢球場で決勝が行われた。昨夏と同じカードの「八戸対決」は、八戸学院光星が延長十回タイブレークの末、3-2で八戸工大に勝利。2年連続12度目の優勝を果たし、夏の甲子園切符を手にした。

全国高校野球青森大会

詳報 12、13
関連記事 22、23

八学光星は七回に勝ち越しの1点を挙げたが、八回に追い付かれ、2-2でタイブレークに突入。延長十回、池田優斗が左前にはじき返し、決勝点を奪った。投手陣は洗平比呂、岡本琉奨の両左腕が好投した。

工大はエースの金洸光希が先発。打線は延長十回に1死満塁と好機を広げるも、後続が打ち取られた。

決勝のタイブレーク決着は初めて。球史に残る激闘に、球場から両チームへ惜しめない拍手が送られた。

全国高校野球選手権大会は8月6日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕。組み合わせ抽選会は同3日に行われる。

(取材班)